

1. 調査概要

(1) 目的

老朽化が進み、施設の大規模な改修や建替えが必要となっている公共施設について、長期的な視点をもって、建替え、長寿命化改修、統廃合などを行うことで財政負担を軽減・平準化し、施設全体の最適化を図る必要があります。

泉大津市では、平成 26 年 12 月に公共施設の適正配置における基本理念、5 つの基本方針を示す「泉大津市公共施設適正配置基本方針」を策定しました。さらに、基本理念の実現に向けて平成 29 年 6 月に公共施設の方向性を示す「泉大津市公共施設適正配置基本計画」を策定し、令和 3 年度末に第 1 期を終え、令和 4 年度から第 2 期に取り組んできました。令和 8 年度末に第 2 期を終えるため、引き続き公共施設適正配置の推進を図る「泉大津市公共施設適正配置基本計画【第 3 期】」の策定に向けた取り組みを行っています。

今回、様々な環境の変化を考慮し、現在の市民ニーズを把握して計画を策定するため、アンケートを行いました。

(2) 調査設計

調査対象	無作為にて抽出した 16 歳以上の市民 2,000 人
方法	郵送にて配布、郵送及び WEB にて回収
調査期間	令和 7 年 10 月 8 日(水)～10 月 24 日(金)
調査地域	泉大津市全域

(3) 回収結果

配布数 (A)	有効回答数 (B)	回収率 (B/A)
2,000 票	732 票 (うち、郵送 476 件、 WEB 256 件)	36.6%

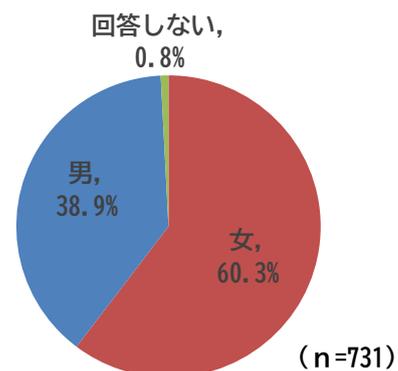
(4) 集計結果の見方

- ・回答結果の割合「%」は、小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。このため、合計値が 100.0% にならない場合があります。
- ・マルチアンサー形式（2 つ以上の選択肢を選ぶ形式）の場合、合計は 100.0% を超えます。
- ・無回答（回答が示されていない、または回答の判別が困難なもの）は、集計結果から除いています。
- ・図表中の「n」（サンプル数）は、有効標本数（集計対象者総数）、あるいは分類別の該当対象者数を示しています。

2. 調査の結果

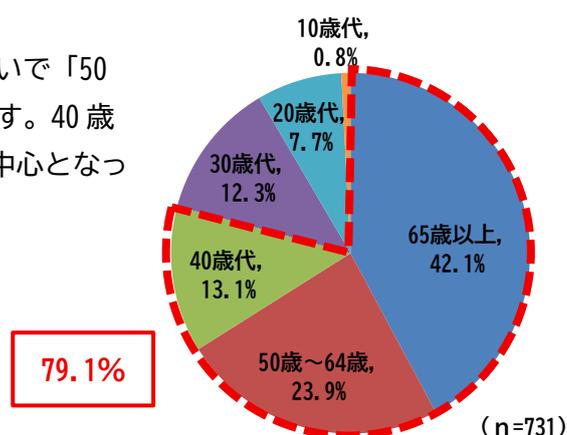
問1 性別

性別の割合は「女性」が60.3%、「男性」が38.9%となっており、「女性」の方が21.4ポイント高くなっています。



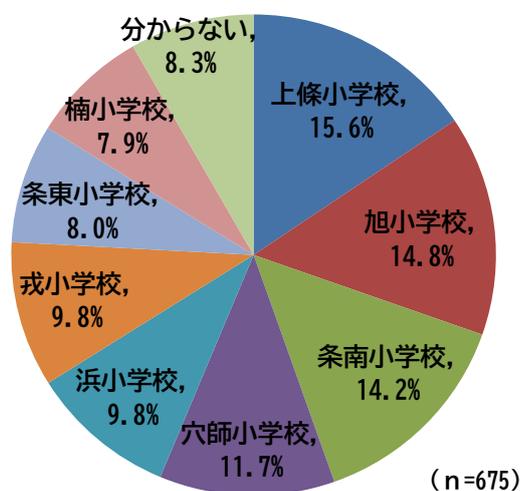
問2 年代

年代別の割合は「65歳以上」が42.1%と最も多く、次いで「50歳～64歳」が23.9%、「40歳代」が13.1%となっています。40歳以上が79.1%となっており、年齢の高い層からの回答が中心となっています。



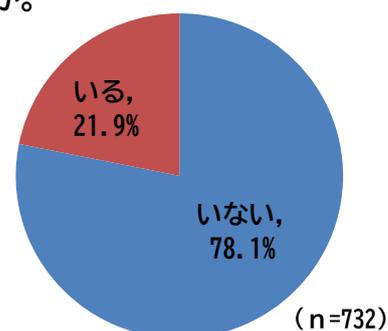
問3 居住地（小学校区名で回答）

居住地別の割合は、「上條小学校」が15.6%と最も多く、次いで「旭小学校」が14.8%、「条南小学校」が14.2%となっています。各地域から概ね10%前後の回答があり、地域別の偏りは少なくなっています。



問4 一緒に住んでいるご家族の中に18歳未満のお子さんはいますか。

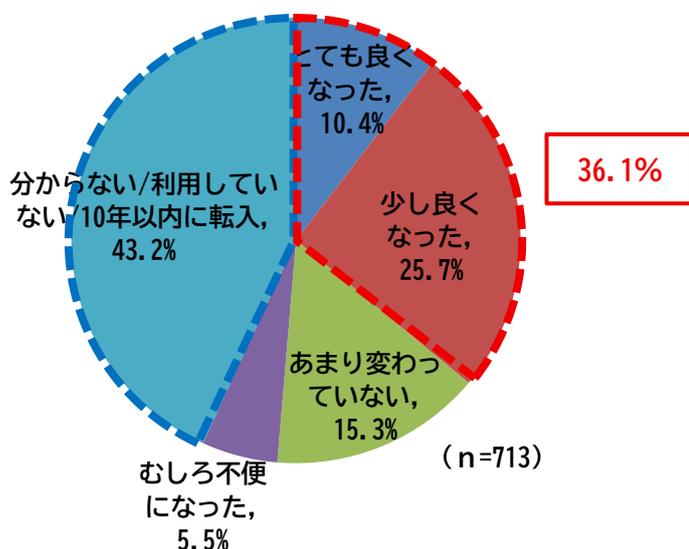
18歳未満の子どもとの同居について、「いない」が78.1%、「いる」が21.9%となっています。



問5 本市では、約10年前から公共施設の適正な配置に向けた取組を実施しています。約10年前と比べて、公共施設の使いやすさや充実度は、どのように変わったと感じますか。(1つに○)

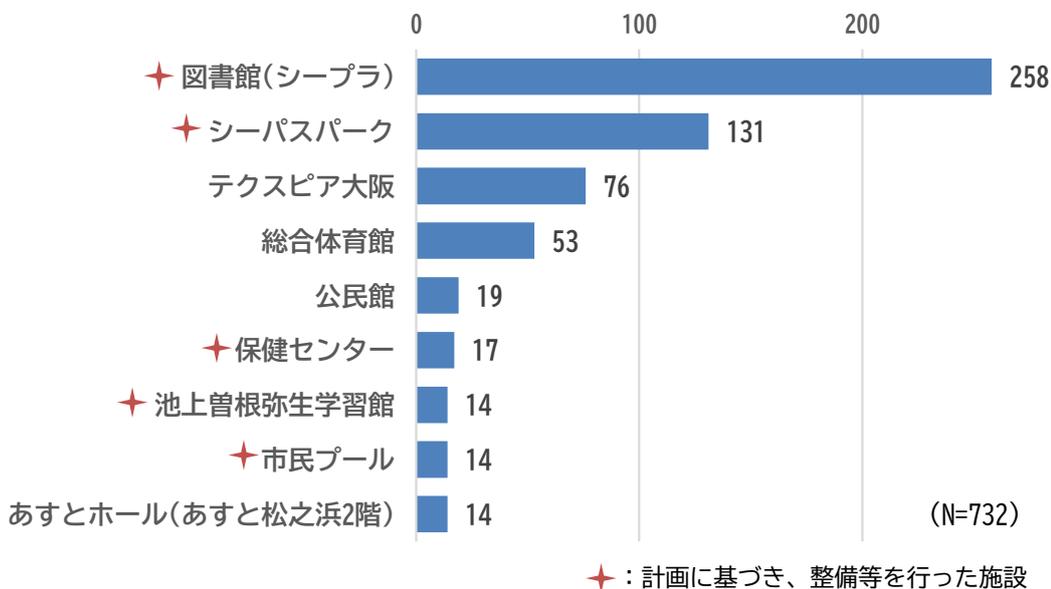
「分からない/利用していない/10年以内に転入」が43.2%で最も多く、次いで「少し良くなった」が25.7%、「あまり変わっていない」が15.3%となっています。

約10年前と比較した公共施設の変化について、「とても良くなった」と「少し良くなった」を合わせて約36%の方に良くなったと評価されています。



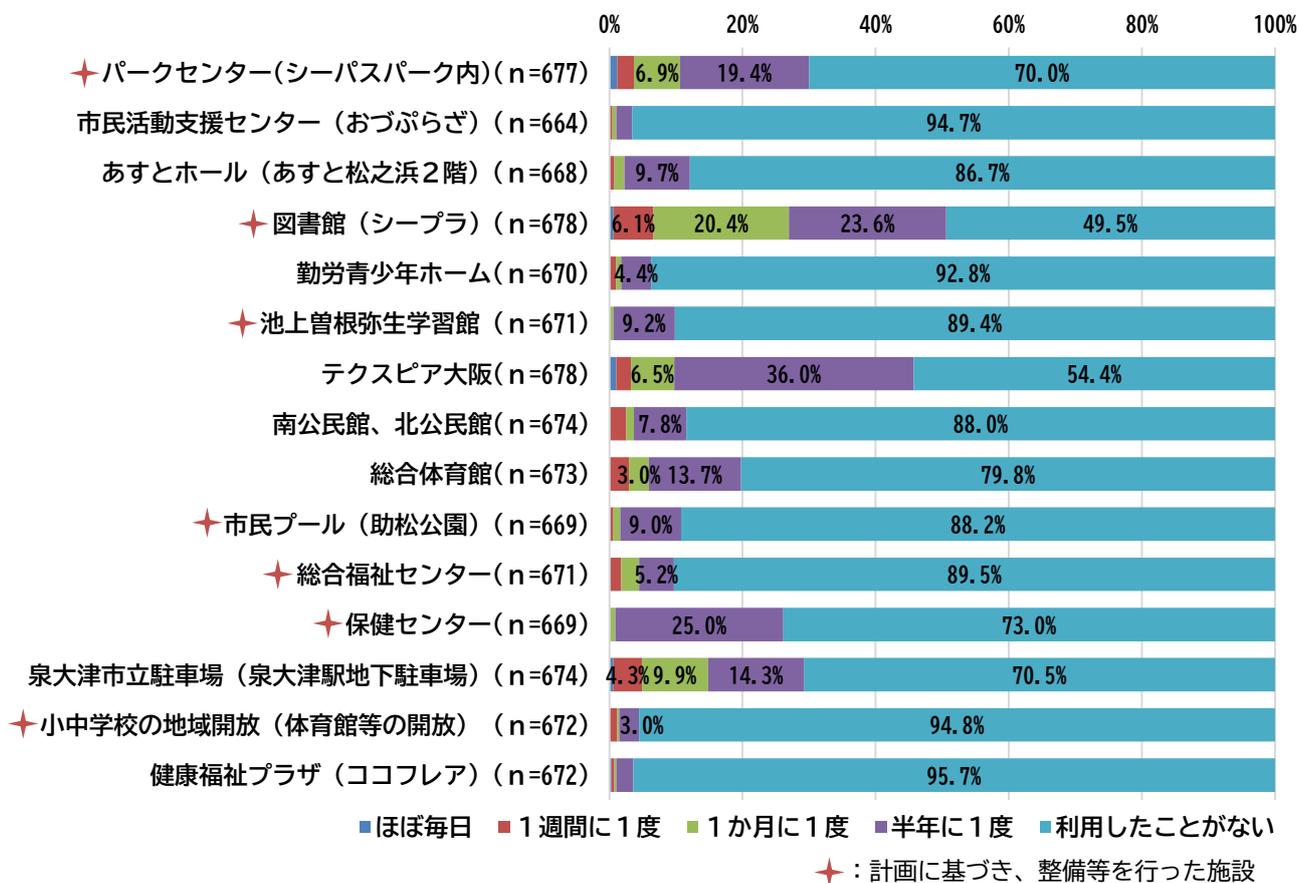
問6 あなたのお気に入りの本市の「公共施設」はどこですか。最大3つまで教えてください。

「図書館(シープラ)」が258票と最も多く、次いで「シーパspark」が131票、「テクスピア大阪」が76票となっています。



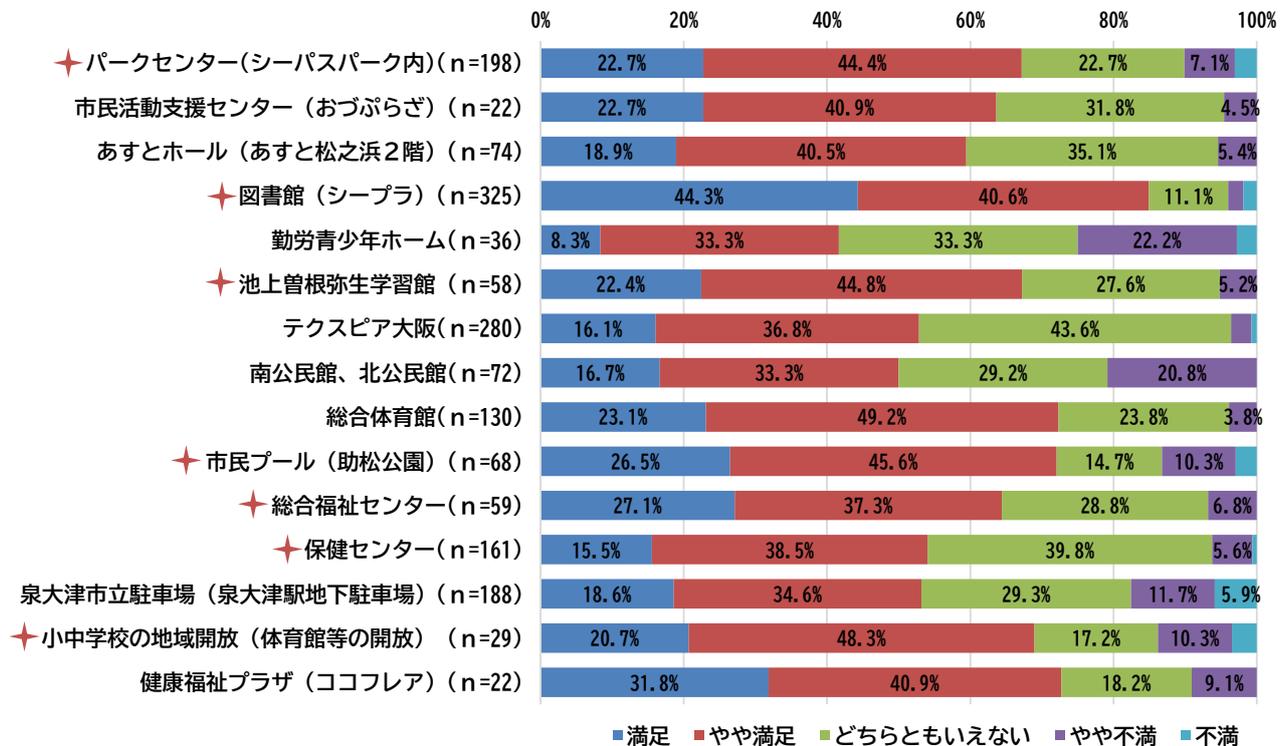
問7 以下の施設の過去1年間の利用について、該当する選択肢を選んでください。(1つに○)

図書館(シープラ)は回答者の約26%、泉大津駅地下駐車場、パークセンター(シーパスパーク内)、テクスピア大阪では回答者の約10%が「1か月に1度」以上と定期的に利用していますが、多くの施設で「利用したことがない」が多くなっています。



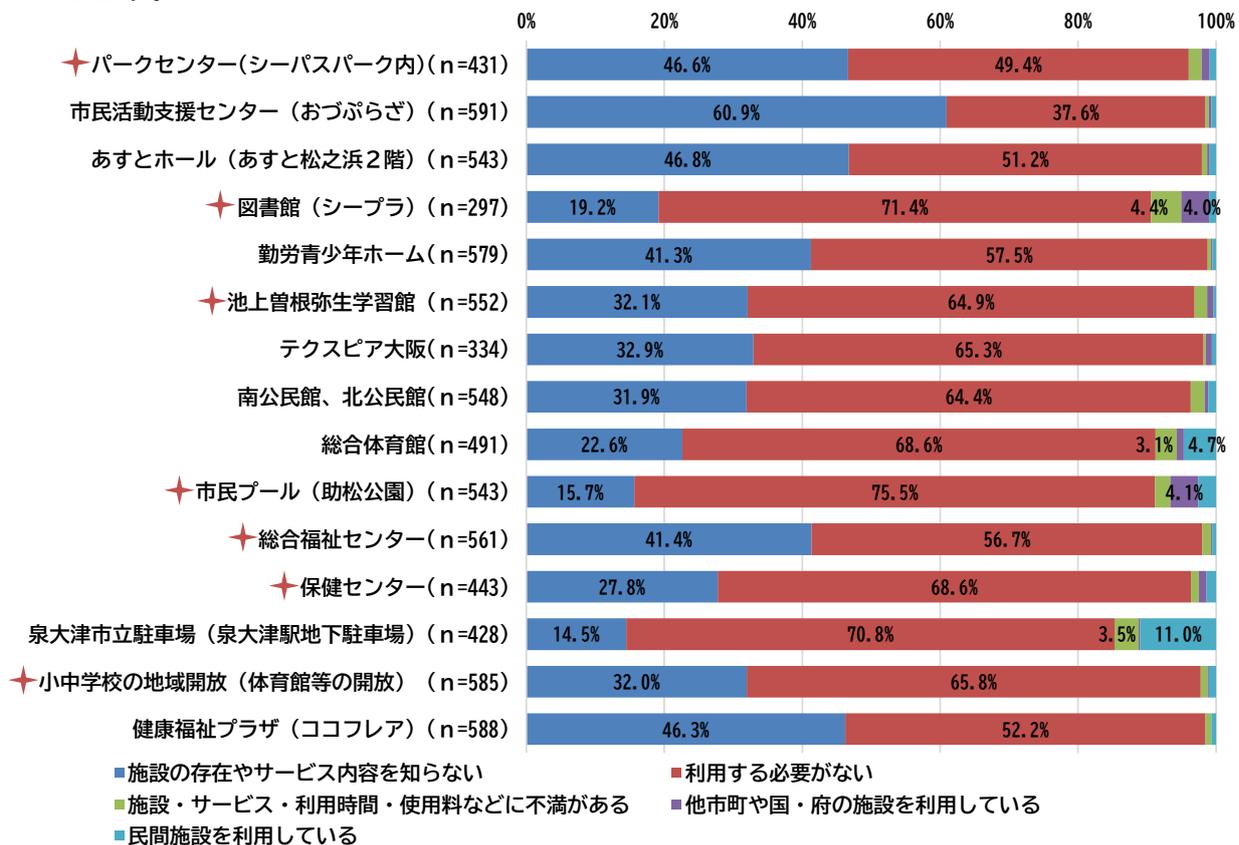
利用について「A. 利用したことがある」方は、その施設の満足度を教えてください。(1つに○)

図書館（シープラ）、総合体育館、市民プール（助松公園）、小中学校の地域開放（体育館等の開放）、健康福祉プラザ（ココフレア）は約7～8割の方が満足と回答しています。一方で、勤労青少年ホームの満足度は約4割にとどまっており、低くなっています。



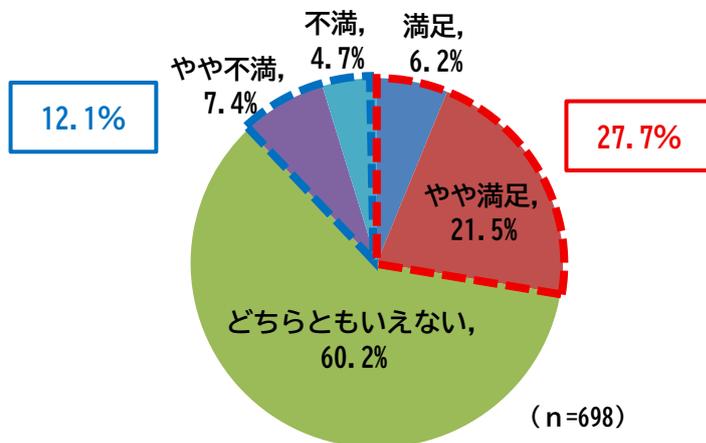
「B. 利用したことがない」を選択した場合は、その理由を教えてください。(1つに○)

ほとんどの施設で、「施設の存在やサービス内容を知らない」「利用する必要がない」という理由が多くなっています。



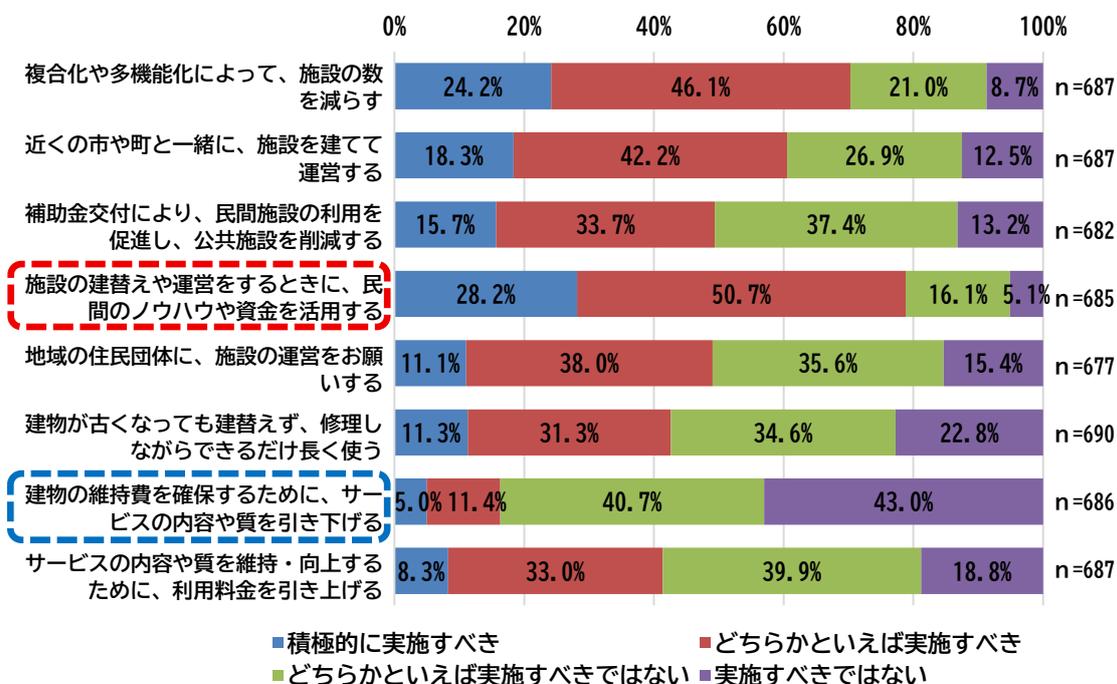
問8 本市の公共施設数やサービスの内容について、あなたのお考えに近いものはどれですか。また、その理由を教えてください。(1つに○)

「満足」が6.2%、「やや満足」が21.5%、あわせて27.7%が満足と回答しています。一方、「不満」が4.7%、「やや不満」が7.4%、あわせて12.1%が不満と回答しています。なお、半数以上の60.2%が「どちらともいえない」と回答しています。



問9 将来、すべての公共施設を適切に維持することが難しくなると考えられる中、公共施設に対する本市の望ましい取組の方向性として、あなたのお考えに近いものはどれですか。

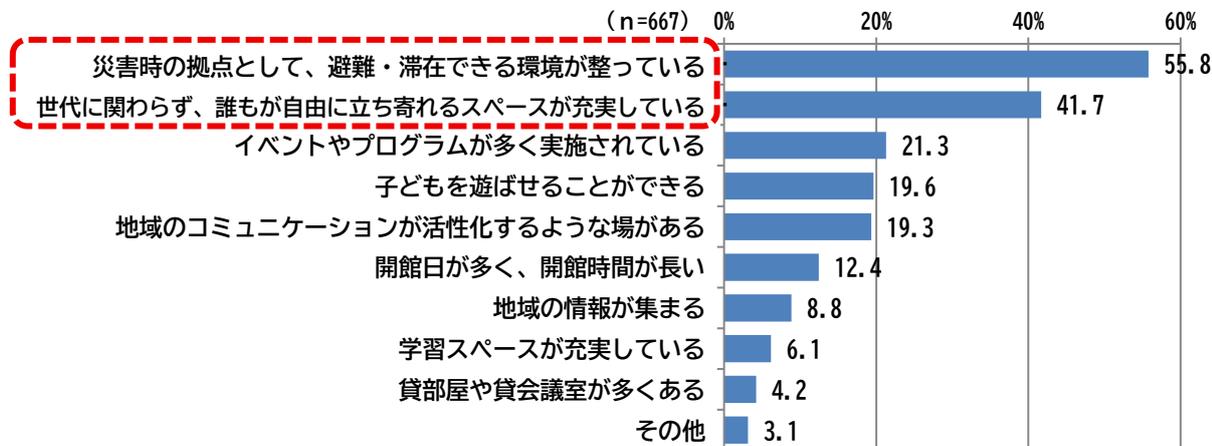
「施設の建替えや運営をするときに、民間のノウハウや資金を活用する」ことについては、「どちらかといえば実施すべき」50.7%、「積極的に実施すべき」28.6%となっています。一方で、「建物の維持費を確保するために、サービスの内容や質を引き下げる」ことについては、「実施すべきではない」43.0%、「どちらかといえば実施すべきではない」40.7%となっています。



問 10 あなたは、公共施設にどのような機能の充実・拡充を求めますか。

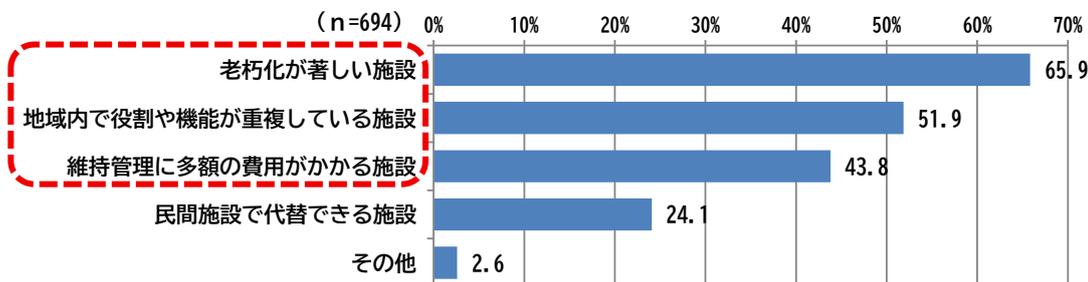
(当てはまるもの2つに○)

公共施設に求める機能について、「災害時の拠点として、避難・滞在できる環境が整っている」が 55.8%で最も多く、次いで「世代に関わらず、誰もが自由に立ち寄れるスペースが充実している」が 41.7%となっています。



問 11 今後、本市の公共施設を複合化・多機能化する場合、どのような施設を対象にすべきだと思いますか。(当てはまるもの2つに○)

「老朽化が著しい施設」が 65.9%で最も多くて、次いで「地域内で役割や機能が重複している施設」が 51.9%、「維持管理に多額の費用がかかる施設」が 43.8%となっています。



問 12 公共施設の複合化・多機能化を進める中で、不要となった建物や土地について、どのようにすべきとお考えですか。(1つに○)

「積極的に売却・貸付等を行い、今後の施設整備の財源とする」が 59.4%で最も多くて、次いで「新たな用途として活用する」が 37.1%となっています。



問 13 最後に、本市の公共施設に関する取組について、その他ご意見などがあればお聞かせください。

回答数は、有効回収数 732 件のうち 190 件 (26.0%)、複数回答を含め延べ 277 件となっています。自由意見を分類した結果は、以下のとおりです。「情報の発信」「施設の更新・改修」「施設の 신설・整備」「子育て支援施設」に関する意見が多く集まっています。

